

令和3年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員



袋広行組監第8号

令和4年8月19日

袋井市森町広域行政組合

管理者 袋井市長 大場 規之 様

袋井市森町広域行政組合

監査委員 久永 豊彦

監査委員 大庭 通嘉

令和3年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和3年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の種類 -----	4
2 審査の対象 -----	4
3 審査の着眼点 -----	4
4 審査の主な実施内容 -----	4
5 審査の実施場所及び日程 -----	4
6 審査の結果 -----	4
7 決算の概要 -----	5
(1) 歳 入 -----	5
(2) 歳 出 -----	6
8 実質収支に関する調書 -----	6
9 財産に関する調書 -----	7
10 基金運用状況調書 -----	9
11 まとめ -----	9

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」 …… 該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「—」 …… 該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」 …… 対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」 …… 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 …… 本年度に数値がなく全額減少したもの

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和3年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

袋井市森町広域行政組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、袋井市森町広域行政組合管理者から提出された令和3年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和4年7月8日及び令和4年7月13日

6 審査の結果

審査に付された令和3年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 収入済額 (A)	令和3年度					増減額 (D)-(A)	前年度 対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	2,732,023	2,645,435	2,645,060	2,645,060	100.0	76.1	△ 86,963	96.8
2 使用料及び 手数料	196,123	207,552	192,806	192,806	92.9	5.5	△ 3,317	98.3
3 県支出金	14,048	18,919	18,911	18,911	100.0	0.5	4,863	134.6
4 財産収入	76	798	3	3	0.4	0.0	△ 73	3.9
5 繰入金	0	34,226	34,227	34,227	100.0	1.0	34,227	皆増
6 繰越金	40,302	33,488	33,488	33,488	100.0	1.0	△ 6,814	83.1
7 諸収入	25,526	25,770	25,094	25,094	97.4	0.7	△ 432	98.3
8 組合債	231,900	540,900	528,900	528,900	97.8	15.2	297,000	228.1
合計	3,239,998	3,507,088	3,478,488	3,478,488	99.2	100	238,490	107.4

歳入決算額は、予算現額3,507,088千円に対し、収入済額3,478,488千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、99.2%(前年度99.1%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると238,490千円(7.4%)の増額となり、構成比は、分担金及び負担金76.1%、組合債15.2%、使用料及び手数料5.5%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	合計
袋井市	32,298	1,019,041	1,035,167	44,395	2,130,901
森町	6,592	209,295	286,249	12,022	514,158
合計	38,890	1,228,336	1,321,416	56,418	2,645,060

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 支出済額 (A)	令和3年度						増減額 (C)-(A)	前年度 対比 (C)/(A)
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)	構成比		
1 議会費	486	615	416	0	199	67.6	0.0	△ 70	85.6
2 総務費	37,310	40,759	39,546	0	1,213	97.0	1.1	2,236	106.0
3 衛生費	1,355,069	1,689,071	1,650,884	0	38,187	97.7	48.0	295,815	121.8
4 消防費	1,206,948	1,248,609	1,234,279	0	14,330	98.9	35.9	27,331	102.3
5 公債費	606,697	516,529	514,367	0	2,162	99.6	15.0	△ 92,330	84.8
6 予備費	0	11,505	0	0	11,505	0.0	0.0	0	—
合 計	3,206,509	3,507,088	3,439,491	0	67,596	98.1	100	232,982	107.3

歳出決算額は、予算現額3,507,088千円に対し、支出済額3,439,491千円、不用額67,596千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、98.1%(前年度98.0%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると232,982千円(7.3%)の増加となり、構成比は、衛生費48.0%、消防費35.9%、公債費15.0%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和3年度決算においては、歳入総額3,478,488千円、歳出総額3,439,491千円、歳入歳出差引額は38,997千円が実質収支となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高
火 葬 施 設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬 入 路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
袋井消防本部	4,098.21	0.00	4,098.21	4,099.74	0.00	4,099.74
消防庁舎駐輪場	—	—	—	9.52	0.00	9.52
車庫備蓄倉庫棟	—	—	—	167.79	0.00	167.79
総合訓練塔	—	—	—	324.00	0.00	324.00
消防訓練塔	—	—	—	192.00	0.00	192.00
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	146,891.30	0.00	146,891.30	21,086.71	0.00	21,086.71

イ 工作物

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²
合 計	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²

(2) 物 品

ア 事務局

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台

イ 施 設

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 ト ラ ッ ク	1 台	0 台	1 台
ダ ンプ カ ー	1 台	△ 1 台 1 台	1 台
普 通 自 動 車	1 台	0 台	1 台
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台
フ ォ ーク リ フ ト	2 台	0 台	2 台
ホ イ ル ロ ー ダ ー	1 台	0 台	1 台

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
無 線 基 地 局	1 台	0 台	1 台
可 搬 ポ ン プ	5 台	0 台	5 台
救 急 車	6 台	0 台	6 台
指 令 車	1 台	0 台	1 台
連 絡 車	3 台	0 台	3 台
査 察 車	1 台	0 台	1 台
広 報 車	1 台	△ 1 台 1 台	1 台
指 揮 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 支 援 車	1 台	△ 1 台 1 台	1 台
支 援 車(マイクロバス)	1 台	0 台	1 台
消 防 ポ ン プ 車	3 台	0 台	3 台
救 助 工 作 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4 台	0 台	4 台
化 学 消 防 自 動 車	1 台	0 台	1 台
小 型 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 車	1 台	0 台	1 台
水 防 車	1 台	△ 1 台	0 台
資 機 材 搬 送 車	0 台	1 台	1 台
事 務 連 絡 車	1 台	0 台	1 台
救 命 ボ ー ト	3 艘	1 艘	4 艘
非 常 用 電 源 装 置	5 台	0 台	5 台
自 動 体 外 式 除 細 動 器	12 台	0 台	12 台
高 度 救 急 シ ミ ュ レ ー タ ー	2 式	0 式	2 式
エ ア ー テ ン ト	5 式	0 式	5 式

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財 政 調 整 基 金	259,042	△ 7,438	251,604
消 防 職 員 退 職 手 当 基 金	62,913	10,001	72,914
合 計	321,955	2,562	324,518

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財 政 調 整 基 金	259,042	26,789	34,227	251,604	新規積立額 26,786 利子積立額 2 基金取崩額 34,227
消防職員退職手当基金	62,913	10,001	0	72,914	新規積立額 10,000 利子積立額 1 基金取崩額 0
合 計	321,955	36,789	34,227	324,518	新規積立額 36,786 利子積立額 3 基金取崩額 34,227

11 まとめ

組合が有する施設の中で、火葬施設(中遠聖苑:昭和58年7月竣工)及びし尿処理施設(袋井衛生センター:昭和61年3月竣工)については老朽化が進んでいることから、計画的かつ定期的な点検や修繕を実施し、万全の施設の維持管理に努める必要がある。

令和3年度においても、火葬施設においては、火葬炉の定期的な修繕、ごみ処理施設においては、スラグコンベア等の更新、し尿処理施設においては、第2プラント搬入路舗装修繕等を実施しており、定期的に必要な修繕等を行っているが、建築年数の古い施設については、施設の耐久性、ランニングコストや利便性などについても併せて検討し、施設の長寿命化を図りながら、今後の施設の在り方を研究していただきたい。

中遠クリーンセンターについては、平成28年度に実施した基幹設備劣化度診断結果を基に、平成30年度から大規模改修工事を実施したが、長期包括的管理運営業務委託の受託者との連携関係を密にすることにより、施設の運転管理が適正かつ円滑となるよう働きかけ、委託業務や施設の修繕等について、常に内容の把握、理解に努められたい。

近年のごみの搬入量は、施設の処理限界量である34,000tに近づいていることから、処理限界量を回避するため、雑紙のリサイクル、剪定枝や刈草の活用、粗大ごみのリユース等の手法により、構成市町と連携し、焼却ごみの減量に積極的に取り組んでいただきたい。

また、大規模な災害が発生すると、家や建物の倒壊、破損により大量のがれきや家具、家電等のごみが一斉に発生する。災害廃棄物の処理については、生活環境の保全と公衆衛生の確保、早期復興のために、適正かつ円滑・迅速な処理を行う必要がある。中遠クリーンセンター等の施設の処理能力を考慮した災害廃棄物の処理方法について、検討されたい。

消防業務については、新型コロナウイルス感染症の影響下において、感染防止対策を取りながら各々の活動を継続し、住民の安全を守る活動をしていることに敬意を表す。

このような状況下においては、常備消防を担う消防職員への期待は大きい。より一層の業務推進に努められるとともに、地域住民の安心・安全のため、関係部署との連携をとりながら、施設や環境を有効に活用し、隊員の資質向上並びに安全かつ効果的な活動のための資機材の整備等に務められたい。